



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社 コンセック
 コード番号 9895 URL <http://www.consec.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐々木 秀隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 寺本 泰之

TEL 082-277-5451

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	7,277	1.8	5	89.9	44	53.4	7	
29年3月期第3四半期	7,408	0.9	54	21.7	94	12.0	59	89.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 59百万円 (570.2%) 29年3月期第3四半期 9百万円 (47.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	0.36	
29年3月期第3四半期	3.22	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	11,718	7,689	64.4	420.31
29年3月期	11,542	7,692	65.3	419.93

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 7,542百万円 29年3月期 7,536百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		3.00	3.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 3円00銭 記念配当(50周年) 1円00銭

3. 平成30年 3月期の連結業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	2.1	180	76.5	230	45.6	120	43.2	6.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	18,640,112 株	29年3月期	18,640,112 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	696,141 株	29年3月期	695,180 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	17,944,723 株	29年3月期3Q	18,213,513 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成にと旧の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用環境の改善等を背景に個人消費が持ち直し、設備投資や輸出も順調に推移いたしました。また、米国、欧州も比較的堅調に推移し、中国の低調な経済成長や保護主義的政策の懸念はあるものの総じて堅調に推移いたしました。国内の景況感は業種により幾分差が出ており、当社グループが主として属する土木建設業界におきましてもこの数年来の人員不足や建設資材価格の高止まりが続く状況下にあります。

このような環境の中、当社グループは引き続き客先ニーズに積極的に対応し、顧客満足を高めるための営業活動を推進してまいりました。第2四半期までの公共事業等の低調な時期から脱し、人員不足はあるものの当第3四半期において回復基調になってまいりました。また、介護事業におきましては経営環境の大きな変化で低調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は72億77百万円(前年同期比1.8%減)となりました。損益面におきましては、営業利益は5百万円(前年同期比89.9%減)、経常利益は44百万円(前年同期比53.4%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、子会社事業所閉鎖に伴う減損損失を計上したことにより四半期純損失7百万円(前年同期は純利益59百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。(セグメント間の内部売上高は含まれておりません。)

(切削機具事業)

ダイヤモンド切削機具及び消耗品の売上が順調に伸び、売上高は24億85百万円(前年同期比5.0%増)、営業利益は2億2百万円(前年同期比22.8%増)となりました。

(特殊工事業)

第3四半期の受注回復があったものの、第2四半期までの受注低迷が大きく影響し、売上高は12億40百万円(前年同期比18.6%減)、営業利益は34百万円(前年同期比68.2%減)となりました。

(建設・生活関連品事業)

顧客の需要は底堅く、売上高は25億44百万円(前年同期比0.3%増)となりました。販売費及び一般管理費の低減に努め、営業利益は51百万円(前年同期比8.9%増)となりました。

(工場設備関連事業)

主要顧客からの受注増に伴い、売上高は5億30百万円(前年同期比22.9%増)となりましたが、主要製品の製造原価等の増加により営業利益は8百万円(前年同期比44.4%減)となりました。

(介護事業)

デイサービス事業所の一部を閉鎖したことにより、売上高は2億65百万円(前年同期比15.1%減)となりました。閉鎖経費等も嵩み、営業損失は48百万円(前年同期は営業損失29百万円)となりました。

(IT関連事業)

ソフトウェア受託開発等の受注活動に注力したものの受注が低調に推移したことにより、売上高は2億12百万円(前年同期比10.5%減)となりました。また、原価低減に努めましたが、営業利益は2百万円(前年同期比67.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から1億76百万円増加し117億18百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の増加2億84百万円などにより3億16百万円増加し52億43百万円となりました。固定資産は、投資有価証券の増加37百万円があったものの、減損損失を要因とする土地の減少70百万円及び減価償却費1億9百万円などにより1億40百万円減少し64億75百万円となりました。流動負債は、支払手形の四半期連結会計期間末日満期手形2億35百万円を要因とする支払手形及び買掛金の増加2億10百万円、短期借入金の増加1億8百万円及び未払法人税等の減少1億14百万円などにより1億34百万円増加し28億60百万円となりました。固定負債は、長期借入金の増加46百万円などにより45百万円増加し11億70百万円となりました。なお、長期・短期借入金は1億54百万円増加し12億11百万円となりました。株主資本は、利益剰余金が配当金の支払などで60百万円減少し6億67百万円となり、株主資本合計で61百万円減少し73億1百万円となりました。その他の包括利益累計額は67百万円増加し2億41百万円、非支配株主持分は10百万円減少し1億47百万円となり純資産合計は4百万円減少し76億89百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経営環境は、海外の政治経済情勢の不確実性はあるものの、国内における雇用、所得環境の改善等により、景気は緩やかに回復を続けるものと予想されます。このような経営環境の中、当社グループは、当初計画に則り、一層の効率化を図り業績予測達成に努力してまいります。

当期の見通しにつきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,155,089	1,439,193
受取手形及び売掛金	2,402,913	2,356,304
商品及び製品	896,719	874,607
仕掛品	30,180	70,080
原材料及び貯蔵品	304,024	324,328
繰延税金資産	53,762	31,529
その他	90,913	152,172
貸倒引当金	△6,584	△5,626
流動資産合計	4,927,016	5,242,587
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,816,171	3,818,104
減価償却累計額	△2,593,076	△2,643,854
建物及び構築物 (純額)	1,223,095	1,174,250
機械及び装置	536,118	539,117
減価償却累計額	△269,026	△297,844
機械及び装置 (純額)	267,092	241,274
土地	3,687,174	3,616,896
その他	958,570	965,527
減価償却累計額	△860,109	△879,504
その他 (純額)	98,461	86,023
有形固定資産合計	5,275,822	5,118,443
無形固定資産		
のれん	542	136
その他	34,313	30,656
無形固定資産合計	34,855	30,791
投資その他の資産		
長期預金	33,562	33,847
投資有価証券	842,527	879,881
退職給付に係る資産	88,210	97,674
繰延税金資産	44,609	16,341
その他	335,402	334,889
貸倒引当金	△39,756	△36,402
投資その他の資産合計	1,304,554	1,326,231
固定資産合計	6,615,231	6,475,466
資産合計	11,542,247	11,718,053

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,769,627	1,979,553
短期借入金	463,823	571,356
未払法人税等	137,724	24,061
賞与引当金	88,242	66,846
完成工事補償引当金	324	237
その他	266,233	217,901
流動負債合計	2,725,973	2,859,954
固定負債		
長期借入金	593,238	639,579
役員退職慰労引当金	66,819	79,649
退職給付に係る負債	423,462	410,191
その他	40,520	40,092
固定負債合計	1,124,038	1,169,510
負債合計	3,850,011	4,029,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,090,270	4,090,270
資本剰余金	2,644,823	2,644,823
利益剰余金	727,557	667,218
自己株式	△101,291	△101,493
株主資本合計	7,361,360	7,300,818
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	167,891	216,466
為替換算調整勘定	70,736	75,519
退職給付に係る調整累計額	△64,349	△50,801
その他の包括利益累計額合計	174,277	241,184
非支配株主持分	156,599	146,587
純資産合計	7,692,236	7,688,589
負債純資産合計	11,542,247	11,718,053

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	7,408,472	7,276,740
売上原価	5,695,775	5,630,616
売上総利益	1,712,697	1,646,124
販売費及び一般管理費	1,659,103	1,640,735
営業利益	53,593	5,389
営業外収益		
受取利息	4,340	3,085
受取配当金	16,757	20,737
受取手数料	5,561	3,970
受取家賃	9,158	8,669
為替差益	1,777	—
その他	9,064	9,782
営業外収益合計	46,657	46,243
営業外費用		
支払利息	4,726	4,409
為替差損	—	588
その他	1,407	2,771
営業外費用合計	6,133	7,768
経常利益	94,117	43,864
特別利益		
固定資産売却益	62,254	312
投資有価証券売却益	5,359	97,367
特別利益合計	67,613	97,679
特別損失		
固定資産除売却損	391	312
減損損失	—	70,278
特別損失合計	391	70,590
税金等調整前四半期純利益	161,339	70,953
法人税、住民税及び事業税	82,166	55,225
法人税等調整額	17,937	26,353
法人税等合計	100,102	81,578
四半期純利益又は四半期純損失(△)	61,237	△10,625
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,590	△4,121
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	58,646	△6,504

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	61,237	△10,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,220	49,622
為替換算調整勘定	△109,825	6,063
退職給付に係る調整額	24,114	13,548
その他の包括利益合計	△52,492	69,233
四半期包括利益	8,745	58,608
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,168	60,402
非支配株主に係る四半期包括利益	△30,423	△1,794

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	切削機具事業	特殊工事業	建設・生活 関連品事業	工場設備 関連事業	介護事業	I T関連事業	合計
売上高							
外部顧客への売上高	2,366,427	1,523,866	2,537,452	431,734	312,011	236,983	7,408,472
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,366	—	21,402	20,805	—	3,931	55,504
計	2,375,792	1,523,866	2,558,854	452,539	312,011	240,914	7,463,976
セグメント利益 又は損失(△)	164,919	107,202	47,118	13,859	△29,341	5,011	308,768

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)
(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	308,768
セグメント間取引消去	△14,576
全社費用(注)	△240,598
四半期連結損益計算書の営業利益	53,593

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計
	切削機具事業	特殊工事業	建設・生活 関連品事業	工場設備 関連事業	介護事業	I T関連事業	
売上高							
外部顧客への売上高	2,484,882	1,239,741	2,544,432	530,469	265,039	212,176	7,276,740
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,074	—	24,006	26,168	—	2,548	65,796
計	2,497,957	1,239,741	2,568,438	556,637	265,039	214,725	7,342,536
セグメント利益 又は損失(△)	202,475	34,134	51,325	7,705	△48,289	1,611	248,962

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	248,962
セグメント間取引消去	△4,909
全社費用(注)	△238,664
四半期連結損益計算書の営業利益	5,389

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

建設・生活関連品事業において、事業所の閉鎖及び第三者への賃貸が決議されたことに伴い、「土地」の帳簿価額を回収可能価額まで減少させ減損損失として特別損失に計上しました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては70,278千円であります。